

[メルディア]

一般財団法人メルディア広報誌

MELDIA

布施博が訊く
心のおしゃべり音楽工房
×
布施博

福祉事業所探訪
あかりワークス国納

障がい者アーティスト
平山和詩×入澤日彩子

人気連載エッセイ
水越けいこの
「M size／はじまり」



月刊メルディア
VOL.36
TAKE FREE

障がい者を応援

大矢真那インタビュー

MELDIA | 2020
DEC. VOL.36

月刊MELDIA VOL.36 2020年10月25日発行(毎月1回25日発行) 第36号 通巻36号
発行所 / 一般財団法人メルディア事務局 〒163-0632 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル32F

TAKE FREE



Design Your Life

MELDIA
GROUP

同じ家は、つukらない。



メルディアグループ
<http://www.meldiagroup.com/>

株式会社三栄建築設計
〒163-0632
東京都新宿区西新宿1-25-1
新宿センタービル32F

メルディアグループ
公式Instagramアカウント
完成事例公開中!「#メルディアグループ」で検索
@meldia_group



多くの人たちとの出会いを経験した

現在の気持ち

取材に関わった当初から

今日までを振り返ってみる

大矢 真那
おおやまさな
MASANA



2017年11月に創刊された月刊MELDIAにインタビューアとして私が参加するようになったのは3号目からでした。

当初は「障がい」のことや障がいのある人たちのことについて、一般的な知識しか持っていませんでした。本誌に関わってからの3年間で「障がい」についてを知ったこと、障がいのある人たちに出会って分かったことを、私なりに考えてみる機会が多くなりました。

次号から4年目に突入するのを機会に、これまでに何度も一緒に取材に行ったライターの大橋はるかさんと取材を通して感じたことや印象に残ったことなどを話してみることにしました。



モデル/タレント
ライター
大橋はるか
おおはし
Haruka



大矢 早いもので月刊MELDIAは次号から4年目に突入するのですが、これまでに大橋さんたちと一緒に各地に伺って多くの取材をしてきましたね。

大橋 はい。この3年の間に取材を通してとても多くの人たちにお会いしてきました。思い返してみれば、最初の頃は障がいのある人たちのこと、そして福祉のこと、何も知識がない状況からのスタートでした。

大矢 私もそうです。知識も経験も「ゼロ」の状態だったと思います。取材に参加させてもらって初めて知ったことも多かったですね。障がいのある人たちと、そのご家族、福祉事業所などで支援に従事する人たちにお話しを伺うまで知らなかったことが多過ぎました。

取材で初めて知ることばかり 新鮮な驚きが連続することも

大橋 私も本誌に関わらなければ知ることができなかったことが多かったと思います。ところで、この3年間で大矢さんと一緒に色々な所へ取材に行きましたが、特に印象に残っている取材先はありますか？

大矢 そうそう。私の記事を読んだから「障がいや福祉について知ることになった」というファンの人たちもいるみたい。

大橋 では、大矢さんのファンである「むぎさん（※1）」をお呼びしているのでお話しを聞いてみたいと思います。むぎさんは大矢さんの記事を読むようになってから「障がい」に対して何か意識の変化などはありましたか？

むぎ 真那さんが取材した記事を読むようになってから障がいのある人たちのことを今ほど知ることがなかったと思います。

大矢 ありがとうございます！ そんな風に言ってもらえると嬉しいです。これからもっと色々取材して、いっぱい発信して行かなくや。

大橋 少し前に取材した「晴れ晴れ」さん（※2）の「抹茶クッキー」について大矢さんがツイート

大矢 何も知識がない状態だったので、これまでの取材の全部が印象に残っています。まだ取材に慣れていなかった頃に行った「ココファーム・ワイナリー（※）」かな。今でも取材の時に伺ったお話しを思い出すことがあります。

大橋 どんな話しを思い出すんですか？

大矢 ぶどうの栽培とワインの醸造などをやっている事業所でしたが、「ぶどうの栽培にもワインの醸造にも利用者さん障がいのある人たちの力が欠かせない」というお話しですね。それ

と、景色がすごくきれいで、ワインと食事がとにかく美味しかった。だから余計に印象に残っているのかも知れないですけど。

大橋 そうですか。

大矢 暑い日も寒い日も真剣にぶどう栽培の作業とワイン醸造の作業に取り組んでいる障がいのある人たちがいることが、美味しいワインが作れる要因のひとつになっているのだからと気付くことができましたね。

大橋 大矢さんの記事を読んで、例えば福祉事

していたじゃないですか。それを見たむぎさんを始めとして多くのファンの人たちが「抹茶クッキー」を注文したんだそうです。

むぎ 真那さんのツイートをみて、すごく気になったので買ってみました。

大矢 エーっ、そうなんだ！

むぎ 抹茶好きの真那さんがお薦めするだけあってすごく美味しかったです。

大橋 注文して届いた商品に手書きのメッセージが添えられていたことに感激したというファン

障がいの認知と理解を広げる 私達の揺るがない信念と使命

が何人かいたようです。あのメッセージは利用者さんが1枚ずつ手で書いているそうです。「晴れ晴れ」の職員さんにお聞きしたんですが、利用者さんがメッセージを書く枚数が増えたことで、すごく「やりがい」を感じているんだそうです。

むぎ 真那さんのツイートを見て単純に「美味しいそう」だと思って購入しただけなんです。そうだとしたら良かったです。



むぎさん

@mugichanomoo829



※1 / 「むぎ」さんはハンドルネーム
※2 / 特定非営利活動法人ヒールアップハウスが運営する就労継続支援B型事業所「晴れ晴れ」(本誌34号に掲載)

※ココファーム・ワイナリー / 本誌6号で取材

一般財団法人メルディア

MELDIA

「一般財団法人メルディア」は2017年に設立されました。当財団では、障がいのある人を支援する活動と、スポーツ(サッカー等)を行う児童・青少年を支援する活動を通じ、広く社会と人々に貢献するため、これらの事業を行っています。

02 広報誌の発行

障がいのある方と、そのご家族への情報発信を行うため、フリーペーパーの広報誌「月刊メルディア」を毎月発行しています。毎月2万部強を発行し、現在は、首都圏および中京エリアの大型商業施設や大型店舗、特別支援学校、全国の障がい者支援施設等にて無料配布しています。



04 サッカー支援

才能があっても家庭の経済的な事情などで、プロプレイヤーを目指すことをあきらめざるを得ない青少年たちの夢を応援し、支援するための「奨学制度」を設けています。2020年10月現在、選考会を経て選ばれた3名の若者に対する支援を行っています。そのうちの1人、湘南ベルマーレU-18の田中聡選手が湘南ベルマーレTOPチームへの昇格(プロ契約)が内定しました。



01 事業内容

- ① 障がい者及び障がい者を支援する団体等への助成および支援事業
- ② 様々な理由からスポーツ(サッカー等)を続けることができない児童、青少年に対する助成および支援事業
- ③ その他の事業



03 取材活動

広報誌「月刊メルディア」では、障がい者支援事業所、障がい者雇用を推進している企業、スポーツ施設、各種団体、障がいのあるアーティストなどに取材をさせていただき、それらを掲載しています。取材記を当財団のFacebookページにも紹介していますので、そちらも併せてご覧ください。



05 サッカー観戦チケットプレゼント

Jリーグのシーズン開催期間中は、「湘南ベルマーレ」のホームゲーム観戦チケットをプレゼントしています。療育手帳または精神障害者保健福祉手帳をお持ちの人と介添者の人、2名1組(ペア)で試合を観戦できます。観戦チケットをご希望の方は巻末の「チケットプレゼント」のページに記載の要項をご覧のうえ、ご応募ください。



©湘南ベルマーレ

※詳細はP30にてご確認ください(編集部)

ALL ABOUT MELDIA

メルディアとは、「メダル」を意味する英語の「MEDAL(メダル)」とイタリア語の「MEDAGLIA(メダリア)」を合わせた造語となっており、終の棲家を手に入れる喜びを「^{ついでに}栄光に輝くメダルを手に入れるような喜び」に見立てています。誰も人生は一度しかないものです。

その、一度限りの人生の夢の実現を、メルディアグループの住宅をお求めになるお客様と同じように、障がいのある人、経済的に恵まれない人、多様性のある多くの人たちの人生においても、「夢」を実現していただくための一助となれることを目標に、これからも当財団の社会貢献事業を進めて参ります。

■財団概要

名称 一般財団法人メルディア
(英文名: General Foundational Juridical Person MELDIA)
設立者 小池信三
設立日 2017年5月23日

所在地 東京都新宿区西新宿 1-25-1 新宿センタービル 32F
電話 03-5381-3213
URL <https://meldia.org/>
MAIL org@gf-meldia.com

MELDIA <https://meldia.org/>



facebook <https://www.facebook.com/gf.meldia/>



障がい者を応援

大矢真那インタビュー

大矢 真那
Interview

取材で培った思いと願いとは 障がいの壁がない社会が理想

大矢 そうですね。本誌の取材に関わる前の私と同じように、障がいや障がいのある人たちのことを「知らない」とか「知る機会がない」という人たちが多いと思うんです。

大橋 確かにそうですね。もしかしたら、私たちも本誌に関わらなければ知らなかったかもしれないですね。

大矢 取材を通して知ったことを、私たちなりに言葉で分かりやすく伝えていくことで、障が

大橋 大矢さんも私も色々な場所に伺って、障がいのある人たち自身の話や、ご家族の話、障がい者支援をする人たちの話を多く聞いてきました。その上で大矢さんが考える福祉や社会の理想の形って、どのような形ですか？

大矢 障がいのあるなしに関係なく、どの人も一緒に過ごせるのが当たり前の社会になればいいのって思います。

大橋 よく言われるような「壁のない社会(インクルーシヴ社会)」になって欲しいということ



いに対しての理解や認知が少しでも進んで行ったら良いと思います。誰もがお互いの個性と個々の多様性を認知して尊重し合える社会になったら良いと思います。

大橋 私もそう願っています。

OYA MASANA INTERVIEW

取材先で頂いた抹茶クッキーの美味しさに感動してSNSで呟いた、という何気ない私の行動でした。その情報がファンの人たちに広がり、抹茶クッキーを製造している福祉事業所に広がり、さらにはそこで働いている障がいのある人たちの「やりがい」にも繋がって大きく波及していくことを知りました。

月刊MELDIAは誰もが気軽に手に取れるというフリーペーパーという形で、多くの人たちに障がいや福祉のことについての情報を知らせること、広めることが使命なんだろうと思います。これからも色々な所に出掛けて取材をして、情報を発信していきたいと思いました。



※編注/記事中の表現は被取材者個人の感想や意見であり、一般財団法人メルディアおよび月刊MELDIAの公式見解ではありません。

布施博が訊く
Fuse Hiroshi ga kiku

特定非営利活動法人

心のおしゃべり音楽工房 × 布施博

東京都世田谷区

音楽の力で人を癒して
心と心を繋ぐ試み
心の声を引き出す可能性を持つ

音楽療法

音楽療法とは「音楽の持つ生理的・心理的・社会的働きを用いて、
心身の障がいの回復や機能の維持改善、生活の質の向上、行動の変容などに向けて、
音楽を意図的、計画的に使用すること」と定義されている
(出典/日本音楽療法学会ガイドライン11)より)。

この音楽療法を専門的に行い、個々のニーズに寄り添い、音楽を提供し、
成果を分析しているのが「音楽療法士」と呼ばれる人たちだ。

近年、この療法が、医療、介護、保育、療育などの分野で
幅広く取り入れられているという。

東京都内で音楽療法を行う「特定非営利活動法人心のおしゃべり音楽工房」の
代表理事・中井深雪さんに話を聞いた。



特定非営利活動法人
心のおしゃべり音楽工房
東京都世田谷区弦巻 2-12-28
TEL / 03-3418-6612
<https://kokorotalkmusic.or.jp/>



布施博
ふせひろし

※編注/記事中の表現は被取材者個人の感想や意見であり、
一般財団法人メルディアおよび月刊MELDIAの公式見解ではありません。



特定非営利活動法人(NPO法人)
心のおしゃべり音楽工房／代表理事
日本音楽療法学会認定音楽療法士／
スーパーバイザー
中井深雪さん
なかいみゆき



ちに、ある時に「音楽療法」という存在を知りました。私は学生時代から音楽を学んでいたこともあって、ピアノの即興演奏が得意でした。「もしかしたら、この特技を活かせるかもしれない」と思ったんです。そこから音楽療法について勉強するようになりました。

布施 芸能活動をやっていたこともあると聞いていますが、ピアノの即興演奏も含めて「表現すること」が好きだったんですね。

中井 そうだと思います。

布施 現在では、こうして「心のおしゃべり音楽工房」を主宰しているわけですが、どのくらいの頻度でレッスンをしているんですか？

中井 私たちは「指導」とか「レッスン」とは言わないで「セッション」と呼んでいるのですが、ほぼ

毎日ここで「セッション」を開催しています。この場所以外でも、依頼があればご自宅に伺って個人セッションをしたり、福祉事業所などに私が出向くこともあります。

布施 セッションを行う時に心掛けていることはありますか？

中井 クライエント(※さんの好きなことを支持してあげるのが一番重要です。音楽療法は直接的(物理的)に何かを「治す」というのではなく、「関係性の療法」とも呼ばれているので、例えば「同じ曲が好きだ」とか、何か「似ているもの」や「共通点」を見つけて、それを「共有していく」または「共有させてもらう」ということから始めていくようにしています。

**実は厳しい音楽療法士の現状
音楽療法の認知拡大が最重要**

布施 現在の課題は何がありますか？

中井 「音楽療法士」って国家が認定した資格(国家資格)にはなっていないんです。音楽療法士になったものの、福祉事業所などに採用されても実際の現場では介護の仕事をしているという場合も多いのが現状です。「音楽療法」だけを仕事として生活していける人が少ないんです。

布施 そうなんですか。障がいのある人たちや、そのお母さんたちを助けようと思っても、そこには壁があるわけだ。

※「心のおしゃべり音楽工房」では利用者のことを「クライアント(Klient/ドイツ語原典)」と呼ぶ。

取材後記

この取材をするまで音楽療法というものがあることを知らなかった。僕がやっている演劇もそうだが、音楽や舞踊が何千年にも渡って人類に愛され、形を変えながらも連続と受け継がれているのには、それらが持っている「自信を表現する力」「自身を鼓舞する力」「癒しの力」が内包されているからだろう。

昨今、普段の生活習慣を改善することで後年に病気に罹るのを防ぐという「予防医療」が推進されている。この動きの先に音楽療法が目されるようになっていくかもしれないと思えた取材になった。

取材／布施博

中井 そうですね。赤ちゃんとお母さんの両方をケアする「子育て支援」に関しても、音楽療法がそこに介入するという事例がまだ少ないんです。また、それらを行う場所や、支援をする制度も存在していません。例えば、音楽療法を専門とするセンター(施設)のような場所が必要ではないかと考えています。

布施 そういった場所があれば音楽療法によって救われる人も増えて、多くの人に効能が認知されるかもしれないから、あっても良いと思っただけだなあ。

中井 無いのであれば、いつかは自分で音楽療法センターを作りたいと思っています。音楽が持つ力を使って、何かに困っている人たちの助けになりたいですね。

「音楽で寄り添う」音楽療法 心と心のコミュニケーション

布施 「音楽療法」というのを初めて知ったんですが、どんな療法なんですか？

中井 定義は難しいのですが、端的に言うところ「コミュニケーションを取るのが苦手だという人や、自分の意思をうまく言葉にできないという人たちに向けて音楽を使って改善に向かう方法を示唆したり、補完する方法を一緒に見付けるのが「音楽療法」とされています。

布施 なるほど。

中井 それと、障がいのある人たちや、社会に対して「生きにくさ」を感じている人たちを対して、音楽を使って心身の機能の回復や機能の改善などのお手伝いなどしています。

布施 周囲に対して訴えたい(訴求したい)ことがあるのに、それを口に出して言えないでいる人も世の中には多いのだらうと思いますよ。

中井 意思を口に出せないのが、障がいに起因するものなのか、性格によるものなのか、はたまた立場的な問題なのか、それぞれに原因があると思います。原因となる部分を見極めてあげることを始まりとして、それぞれの人が持っている「思い」や「気持ち」を外に出すための手段として音楽という手法を用います。

布施 歌や演奏などをすることで、心を開放して、心の内部にあるものを外に向けて発散させると

いうようなイメージですか？

中井 私は音楽が持つ影響力を「鎮静・高揚・触発・発散・刺激」という5つの効能に分類しています。この5つを使い分けて「セッション(※)」を行うということをやっています。

布施 確かに音楽にはそういう効果はあるよね。例えば、気分が沈んでいる時に、歌を唄ったり、大きな声を出すと気分が晴れるみたい。ああ、なるほど。実際に効果を上げた例があったら教えてください。

中井 自閉症のある子どもにも「音楽と共に自由に身体を動かす」というセッションを続けていくうちに、自閉症に特有の「感覚過敏」の傾向が緩和されたという例もありました。

**障がい児とその母を助けたい
思いが募り音楽療法に出会う**

布施 そもそも、なぜ「障がいのある人たちに音楽療法を」と考えるようになったんですか？

中井 世の中には障がいを持って生まれて来る子どもがいますよね。当事者である障がいのある子どもはもちろん、そのご家族、特に「お母さん」たちの助けになるようなことは何かないだろうか考えたことがありました。

布施 そこから音楽療法士を志した、と？

中井 いえ、最初は「どんな方法があるのか」までは考えていませんでした。色々と模索しているう

※「心のおしゃべり音楽工房」では音楽療法の時間を「セッション」と呼んでいる。

新型コロナウイルス感染症に留意し、衛生面には最大限の配慮をしたうえで人的距離を確保して取材を行いました。取材の前に取材陣全員の健康状態の問診と体温計測を行い、手指の消毒およびうがいを励行しました。取材中は適宜に換気を行い、素材写真の撮影時以外は全員がマスクを着用して取材を行いました。また取材の一部はWEB会議システムを利用したリモート取材を行いました。(編集部)

AKARI works KOKUNOU

福祉事業所然の形態から脱却 一般企業と同様の外注先へ

編集 就労継続支援A型事業所の中でも屈指の高い賃金を支払うことに成功していると聞いて、その理由を知りたくて取材に伺いました。

川岸 「A型」の場合、雇用契約を結んでいるので決められた最低賃金を保証している事業所も多いですが、労働時間が短いとお支払いする給与も低くなってしまいます。ここ「あかりワークス国納」では平均して毎日6時間くらい働いていただいているので、「一般的な「A型」よりは多くの給与を支払うことができている」と思います。

編集 労働時間が長いということは、それだけ仕事量が確保できているということですか？

川岸 そういうことですね。「福祉事業所だから」ということで仕事を受けているわけではなく、「一般の企業が仕事を受注しているのと同じ仕組みになっているから」です。

編集 なるほど。そういう理由でしたか。

川岸 受注した仕事をしっかりと遂行できているから、続けて仕事の依頼をいただけるのだらうと思います。

特定非営利活動法人あかり 埼玉県南埼玉郡宮代町

あかりワークス国納



事業所で働く人たちに高い賃金を支払える理由は障がいのある人たちと職員とが協調して働くこと

障がいのある人たちの就労形態のひとつとして、雇用契約を結んで給与を貰う「就労継続支援A型事業所」と、作業をして工賃を受け取る「就労継続支援B型事業所」とがあります。

前者の「A型」とは、一般の企業に就職するのと同じような形態だと考えれば分かりやすいかもしれません。

埼玉県宮代町にある「あかりワークス国納」では、利用者さんたちのことを「一般職」、職員を「リーダー職」と呼び、「両者が協調して働いて一般職の給料を稼ぐ」という考えのもと、一般の企業と遜色のない給与を支払っている事業所です。

同所を訪ねてA型事業所の運営について取材しました。

あかりワークス国納（特定非営利活動法人あかり）
埼玉県南埼玉郡宮代町国納 816-1
TEL / 0480-36-1100
<https://akari2006.or.jp/main-project/works/works-kokunou>



編集 仕事量が増えれば労働時間が増加し、それに比例して支払うことができる給与も高くなるとのことですか？

小林 特に「これ」といった秘策のようなものがあつたわけではなく、それぞれの習得度（習熟度）に合わせて段階を踏んで指導するということが実践してきました。

編集 個性や特性を見極めて作業の進捗を図るといふようなことですか？

小林 得意だとする部分をどんどん伸ばしてあげて、苦手だとする部分を重点的に指導するという方法で仕事を覚えてもらった結果、作業効率が向上したということだろうと思います。

利用者を一般職と呼ぶ理由は給与を稼ぐという意識喚起で

編集 取材の前に作業の様子を見学させてもらいましたが、皆さんがお菓子の袋詰めのような作業をしていましたか。

小林 今日やっている作業は「揚げ菓子」の袋詰め、計量して一定量を小袋に分けてシール（密封）をする作業です。メインは全国の3000ヶ所に及ぶ保育園や幼稚園の園児が食べる「おやつ」の袋詰めをする作業ですね。

編集 てきぱきと手際よく作業をしていましたが、指導をするうえで留意した点や工夫したことはありましたか？

などはありましたか？

小林 どうすれば仕事を覚えてもらえるか、いかに作業の再現性を高めるか、その2点に着目しました。扱う商品が変わっても、基本的には「袋に物を詰める」という作業自体は変わらないので、まずはそこから覚えてもらえようと考えると指導してきました。

古堺 例えば、右手と左手とで別の動きをさせるというのが苦手な人もいます。右手で物を掴んで、左手には袋を持って、その袋に物を詰めるというような練習をしてもらったこともありました。

編集 作業を覚えてもらったための試行もあつたんですね。そうすることで作業効率が上がって仕事の受注量が増えて、結果として高い給与を支払えることになったと。

川岸 福祉作業所ではなく会社（企業）で働くのと同じような意識を持って欲しいので、ここでは「A型」の利用者さんを「一般職」、職員を「リーダー職」と呼んでいます。「働く」ということは対価として「お金」を稼げなければ仕事をやっている意味がないと思っんです。「一般職とリーダー職とが力を合わせて」「一般職の給料を稼ぐんだ」という意識を持ってもらいたいという意図もそこにはありますね。いずれは自立して一般就労を目指して欲しいという願いもあるので、「一般就労をしてからも継続的に仕事をしてもらうための意識を持つてもらえたら」と考えています。

新型コロナウイルス感染症に留意し、衛生面には最大限の配慮をしたうえで人的距離を確保して取材を行いました。福祉事業所への訪問前に取材陣全員の健康状態の問診と体温計測を行い、手指の消毒およびうがいを励行しました。取材中は適宜に換気を行い、素材写真の撮影時以外は全員がマスクを着用して取材を行いました。（編集部）





就労支援事業所 あかりワークス国納
主任支援員
深井 保孝さん
ふかい やすたか



就労支援事業所 あかりワークス国納
一般職
中村 茉樹さん
なかむら まき



AKARI works KOKUNOU 

仕事に真剣に取り組む一般職
皆と一緒に働くのが楽しい

——あかりワークス国納で「一般職」として働く中村茉樹さんと、主任支援員の深井保孝さんにもお話を伺いました。

編集 いつもどんな仕事をしていますか？
中村 お菓子を計量して袋に詰めたり、割れたお菓子を選別する仕事をしています。
編集 いつもの仕事の中で「これは難しい」と思ったことはありませんか？
中村 胚芽クッキーを袋に詰めてシーラー(熱圧着密封装置)に掛けるのが難しいです。



特定非営利活動法人あかり
統括責任者
古堺 義通さん
こざかい よしみつ



特定非営利活動法人あかり
代表理事
川岸 恵子さん
かわぎし けいこ



特定非営利活動法人あかり
就労支援事業グループ長
小林 誠さん
こばやし まこと

特定非営利活動法人あかり
埼玉県久喜市吉羽 1-32-24 2F
TEL / 0480-24-2060
URL / <https://akari2006.or.jp/>



深井 小袋に分けたお菓子を最後に大きな袋に入れて、空気を抜いてシーラーで封をする作業があります。封をした線(圧着した箇所)が曲がっていたりすると納品できないので、それをいかに真っ直ぐに封をするかが難しいんです。

編集 もう今では慣れたということですか？
中村 はい。
深井 以前は少し苦手だったんだよね？
中村 うまく出来るようになりました。
深井 彼女なりに頑張ってくれて、今ではすごく上手に出来るようになりました。

編集 中村さんの仕事ぶりはどうですか？
深井 勤務態度がまじめで、仕事がすごく正確なんです。毎日バスに乗って、休まずに通って来てくれていて、彼女にはいつも助けられているという感じです。

編集 そうなんですね。ところで、ここでみんなと一緒に仕事をしていて「楽しい」と思うことは何ですか？
中村 一緒にお昼ご飯を食べたり、お喋りをするのが楽しいです。
編集 貰ったお給料は何に使いますか？
中村 美容院に行く時に使います。
編集 お休みの日は何をしていますか？
中村 家でお母さんの料理を手伝ったり、洗濯物を畳んだりすることが多いです。



連載の開始から数えて3年が経過しましたが、この3年の間にもいろいろな事がありました。毎年のように各地で起きた自然災害によって多くの人たちが被災され、尊い人命が失われたこと、不慣れた暮らしを余儀なくされた人たちが多かったことも記憶に新しいです。被災された人たちにお見舞いを申し上げると共に、一日も早く日常が戻るように祈念します。

また、2020年に入ってからはずりめ試験が世界を席巻し、「新しい生活様式」を受け入れざるを得ない事態も経験しました。

この、新しい生活様式で提唱されている「人

人々との関わりを思い出して改めて感謝の気持ちを感じる

連載の開始から数えて3年が経過しましたが、この3年の間にもいろいろな事がありました。毎年のように各地で起きた自然災害によって多くの人たちが被災され、尊い人命が失われたこと、不慣れた暮らしを余儀なくされた人たちが多かったことも記憶に新しいです。被災された人たちにお見舞いを申し上げると共に、一日も早く日常が戻るように祈念します。

また、2020年に入ってからはずりめ試験が世界を席巻し、「新しい生活様式」を受け入れざるを得ない事態も経験しました。

この、新しい生活様式で提唱されている「人

早いもので、こうして私の文章を載せて頂いている月刊MELDIAも今号で36号目とのこと。丸3年という長い期間に渡って36回もの連載をしてきたことになりました。

この連載を始めるまで単発では文章を発表したことがありませんが、毎月連載という形は初めてでした。正直なところ、時には次号の連載の内容をどうするか、構成をどうするか、悩んだこともありました。

そんな時は、ファンの人たちから頂く手紙やメールを読み返してみたり、これまでに撮った私と麗良(れいら)との写真を見たりして、あれこれと思い出しながら文章を紡ぐという作業をしてきました。

Msize
エムサイズ
水越けいこ連載 36

はじまり

「はじまり」の始まりに思う 連載開始の当初を振り返って

縁あって一般財団法人メルディアの理事を拝命してすぐに、この月刊MELDIAでの連載が決まりました。連載を始めるにあたり、打ち合わせと取材のために初めて編集部に出向いたのは、気持ちよく晴れた秋の午後でした。

「せっかくなので麗良くんも一緒に連れて来てはどうですか?」という誘いを受け、息子を連れて編集部に向いました。

旧知の仕事仲間が集まる場所や、私の仕事の現場に息子を連れて行ったことは何度もありましたが、初対面の人たちが多い場所へ一緒に行くことはあまり多くなかったため、息子の挙動が少し心配でした。

多少の不安を抱えながら伺いましたが、編集部の人たちが笑顔で私たちを迎えてくれ、息子にも優しく声を掛けてくれました。息子はといえば、とても嬉しそうにしていて、伺ってから数分後

的距離の確保には私たちの人間性や社会の根幹を揺るがせるほどの衝撃がありました。

しかし、皮肉なことに、物理的な距離を確保しなければならぬからこそ精神的な距離や人間同士の心の繋がりは大切になっていかなければならないことを気付かせてくれました。

この連載では私と息子との関わりや、息子の障がいのことを書いてきました。毎回、文章を起草する段階で、これまでに私たちが親子の周りにいて応援や支援をしていたいただいた大勢の人たち、関わっていたいてくれる人たち、そしてファンの人たちのことを改めて思い出して考える機会にもなっていました。

息子が生まれてから今日に至るまで、私たち親子を見守ってくれた人々との思い出を辿ると同時に、改めて感謝の気持ちを感じる時間にもなっていました。

私が起こした文章を読んでくれた人々たちだけではありません。何気なく手にした月刊MELDIAを読んで、初めて「水越けいこ」を知ってくれた人々もいたのだらうと思います。

これからも私と息子の体験や日常を文章として書き起こすことで、多くの人たちに、障がいのこと、ダウン症のこと、障がいのある子どもを持つ親の気持ちなどを発信していきたいと思っています。

Keiko Mizukoshi



シンガーソングライター
水越けいこ

1978年「幸せをありがとう」でデビュー。TBSの朝の情報番組「8時の空」に田中星児と共にレギュラー出演。その後、「ほほにキスして」「Too Far Away」がヒット。現在はダウン症を持つ息子・麗良と2人暮らしをしながら音楽活動と講演活動を行っている。

には早くも編集部員と笑顔で何やら会話を交わしているほどでした。

その様子を見て「障がいに関して真剣に考えてくれている仲間がいる」と思いました。「この環境を活かして何かきちんとメッセージを発信できるようにしよう」と決意しました。

それがこの連載「Msize／はじまり」の始まりになりました。



水越けいこ「僕らの気持ち」絶賛発売中!





©平山和詩

ARTIST

アーティスト 平山和詩さん

鋭い観察眼が生み出す緻密作画とユニークな構図
両親と地域の応援を受けつつ壮大な世界観を描く

2018年にフランスのナント市にある国立現代芸術センターで日本に在住する障がいのある人たちの作品を集めて開催された「日本のアール・ブリュット KOMOREBI 展」の展示作品に選ばれたのが栃木県在住の平山和詩さんの作品。

平山さんは、昆虫や動物をモチーフにしてユニークな視点から描かれたカラフルで緻密な構図が特徴のアーティストです。

2020年3月に一般財団法人メルディアの主催で行われたアート展「ボーダレス」での作品展示も記憶に新しいところだと思います。那須塩原市を訪ねて平山さんにご両親取材してきました。



両親が語る作家の原点と才能に気付いた頃のこと

入澤 和詩さんが絵を描き始めたのは、いつ頃からですか？

平山安寿子さん(以下、お母さん) 保育園の頃からですか。とにかく虫捕り(昆虫採集)が大好きな子どもだったので、だんだんとそれに飽きてきたんですね。そこで、「飽きずにできる遊びは何かないか?」と思って、あれはどうか、これはどうか、ついでいろいろとやらせている中でスケッチブックを渡したことがあります。次の日にそれを見たら、大きな鉄塔が描かれてあって、びっくりしました。入澤 現在も鉄塔が描かれている作品がいくつも

ありますが、その辺りが原点なんですね。

平山薫さん(以下、お父さん) 子どもの頃に描いていた中に鉄塔や送電線の絵があったんですが、それがすごく雄大で、しかも緻密に描けていました。それを見て「子どもが描くようなモチーフじゃない」と感じました。自分の子どもながら「すごいな!」と思いましたね。

入澤 ご両親が和詩さんの才能に気付いたのも同じくらいの頃ですか？

お父さん その頃はまだ「才能」だとは思いませんでしたが、好きなことをやらせてあげたいという気持ちがありました。

入澤 最近の作品を見るとカラーペンで描かれたカラフルなものが多いのですが、昔から今のよう

カラフルな作品が多かったんですか？

お母さん 鉛筆や色鉛筆で描いていた時期もありましたが、ある時に「色落ちをしないし滲みも少ないからこれを使ってみたら?」と作画にコピック(カラーペン)を使うことを薦めてくれた人がいました。使ってみたら本人も描きやすかったんでしょね。それからはコピックで描くことが多くなりました。

入澤 それで現在のように緻密でカラフルな作品が描けるようになったわけですね。

お母さん コピックを使って絵を描くようになってから作品と作画のバリエーションが増えたように思います。



アーティスト
平山 和詩さん
ひらやま かずし

アプリュッセー合同会社/代表
アートディレクター

入澤 日彩子
いりさわ ひさこ





平山 薫さん
ひらやま かおる

平山 安寿子さん
ひらやま やすこ



つながるひろがるアート展NASU
実行委員
佐藤 謙太郎さん
さとう けんたろう



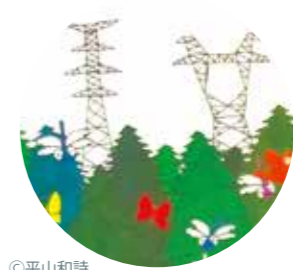
©平山和詩

大好きな生き物をモチーフにしたカラフルで、一見してポップな絵には、昆虫をカエルが食べ、カラスがカエルを食べるような食物連鎖が描かれ、平山さんの表現力を感じさせる。



©平山和詩

クリスマスをモチーフにした作品。白い雪景色の背景にカラフルな動物たちが映える。



©平山和詩

平山さんの作品には鉄塔が描かれているものが多い。初めてスケッチブックを手にしたときに描いた鉄塔が原点になっているそう。

両親が代弁する作家の世界観 興味の対象が作品のモチーフ

入澤 和詩さんの作品には昆虫やカエルが描かれていることが多いのですが、子どもの頃に好きでよくやっていたという「虫捕り」が理由になっていますか？
お父さん それもありますが、以前はアニメに出て来るキャラクターを描いた作品が多かったんです。後年になって作品を展示する機会が増えたこともあって、アニメのキャラクターを作品の中に描くことをやらなくなりました。
佐藤 多くの人の目に触れる展覧会などで作品を展示する場合には著作権に配慮してアニメのキャラ

クターが描かれたものは出展を遠慮してもらったという経緯がありました。
入澤 それで、昆虫とかカエルとかを描くことが多くなつたんですか？
お父さん そうですね。動物や昆虫を題材にしたテレビ番組などを観ていることが多いので、生き物が大好きなんだと思います。
お母さん 録画して同じ番組を何度も観たりしていますし、昆虫が出て来る映画を観たりすることもあって、生き物を良く観察しているんだろうと思います。

入澤 作品の中にすごく多くのカエルが描かれているものがある、そこに描かれているカエルの表情が

アートを介して繋がり広がる 作家を取り巻く環境と絆の輪

入澤 那須塩原市を中心にして障がいのあるアーティストさんたちの作品を展示している「つながるひろがるアート展」には和詩さんはいつから出展するようになったのですか？
佐藤 第2回目からです。初回の「つながる」を開催した時に、ある人から「うちの近所に凄い絵を描く子がいる」という話を聞いたんです。そこで平山さんのお宅に何回も作品を見せてもらったのですが、長さが50メートル以上もある紙に描かれた「昆虫絵図」みたいなのがあって、「これはすごいな」と画力と構図に圧倒されたんです。それで、第2回目を開催する時に、その絵を展示してもらいました。

入澤 長さが50メートル以上？
佐藤 観るだけで圧倒されますよ。
入澤 障がいのあるアーティストさんたちについて造詣が深い佐藤さんが「いま思っていること」があれば教えてください。
佐藤 以前は「どうすれば作品を世の中に出してあげることができるのか？」と分からないことが多かったんです。3月に開催されたアート展(※)に作品を展示させてもらったり、作品を評価して購入していただいたりもして、それがすごく「これまでやってきて良かったなあ」と僕が思う部分もありますね。

※一般財団法人メルディアの主催で行われた「Borderless—アートがすべてのサカイをとかしていく—」

取材後記

3月に開催したアート展が縁で知り合った人たちの再会を編集部で以前からお願いしていて、こうして今回の対談で叶うことになりました。
和詩さんの才能に早くから気付いた平山夫妻、作品を見出した佐藤さん、そして本人。この3者がアートを通してひとつに繋がって広がって行ったからこそ、アーティストとして活躍する現在の平山和詩さんがいるのでしょう。
和詩さんの作品はアートが本来持っている「観る楽しみ」を私たちに与えてくれるものばかりです。これからの彼の作品が一層楽しみになった取材となりました。



それぞれ違っていたり、色も変えてあったり、擬人化されていたりと、緻密にうまく描き分けてあって「き」と良く観察しているんだろうなあ」って思っていました。
佐藤 昆虫をカエルが食べて、カエルをカラスが食べて、というような描写が作品の中に見られるんですが、食物連鎖というか、自然の摂理を見事に表現しているなあという印象を受けますね。
入澤 作品の中に生態系をきちんと描いているという感じですか？
お父さん 「見ると残酷な描写かもしれませんが」「自然が本当はこうなんだぞ！」「動物って凄いなぞ！」みたいな描き方をしていることは確かにありますね。

新型コロナウイルス感染症に留意し、衛生面には最大限の配慮をしたうえで人的距離を確保して取材を行いました。取材中は適宜に換気を行い、素材写真の撮影時以外は全員がマスクを着用して取材を行いました。(編集部)



©平山和詩

アーティスト 平山和詩さんと私

平山和詩さんの作品を初めて拝見した時に生じた気持ち、「楽しい」というものだったことをはつきりと覚えていますが。

作品の中には、たくさんカラフルな昆虫やカエル、怪獣などが密集して描かれているだけでなく、それぞれのキャラクターの表情がとても豊かで個性さえ感じられるほどでした。

それらをもっとよく見たいという衝動に駆られ、細部を確かめようと見入っているうちに、気付けば作品の世界の住人になったような感覚に捉われました。その感覚はさらに自分の過去の記憶と繋がっていききました。脳裏に浮かんだのは小学校時代の教室の風景でした。

「こんな表情をする男子がいたな」や「この子はよくイタズラしていたあの子だ」というように、普段は遠くにあったはずの記憶が向こうから近づいて来てくれたのです。

これは作品を鑑賞してこそ得られる幸福な時間でした。

和詩さんの近年の作品はカラーペンで描かれています。たくさん色を用いています。色が重なって濁ることもなく、細部までしっかりと書き込まれているのが特徴です。

色の配置も、作品の中に描かれた昆虫やカエルなどの配置のバランスも良く、大きさ、顔の向き、表情までも異なっている個性溢れる多くの生き物が描かれています。作品の中には生物の多様性が描かれ、そこに共生する生き物たちが平和に暮らすという世界観が表現されています。

でも、和詩さんの作品の細部をよく見てみるとカエルの口の中からは、餌食となった昆虫が見え隠れしているのに気付きます。一見、平和で可愛らしく見える作品の中には、食物連鎖という自然の摂理がきちんと描かれています。夏には虫捕りをよくやっていたという

う和詩さん。虫捕りをするために自然の中を気の赴くままに散策しながら、そこかしこで起きていた事象をじっくりと観察し、あらゆることに対してリサーチを続けているからこそ、自身の作品の中にユーモアを交えつつ「生の世界」をカラフルに描くことで、同時に生き物の多様性も表現できているのだらうと思います。

人間（ひと）は自身が嫌だと感じるものから距離を取ってしまったり、あるいは目を背けたりして、「自分に都合の良い世界」を作り上げてしまう傾向があります。日常的にそのような行動をしまわっている私たちに「気付くきっかけ」を和詩さんの作品が与えてくれていると感じます。

私はアーティストとは、社会に内包する課題を示唆してくれる存在であり、アートは異なる価値観や考え方を認めて共に生きていくことの重要性を教えてくれるものだと思います。

アーティストとしての和詩さんは、社会で共生するのに必要な様々なことを作品と彼自身を通して私たちに示してくれているのです。

一般的に「障がいのあるアーティスト」という表現が使われることがありますが、和詩さんだけに限らず、障がいがありながらもアーティストとして活動している人たちに「障がいのある」とい

う識別語は不要だと常々思っています。アーティストの作品を私たちが鑑賞したり楽しんだりすることにアーティストの属性は全く関係がありません。純粹に作品を観ることができなければ、観る側の私たちが世界から立ち遅れてしまうことになるでしょう。

今回の取材を終えて、駐車場まで見送りに出た私は、和詩さんが車の中に載せていたカエルのぬいぐるみの色と車体の色がマッチしているのに気付きました。思わず「素敵だね」と言うと、車の中からカエルのぬいぐるみを出してきて私に見せてくれた優しい和詩さん。

これからもアーティスト・平山和詩が描く作品を楽しみにしています。またお会いしましょう。



アプラスシー合同会社
東京都千代田区神田小川町1-8-3 3F
TEL / 03-6868-4021
<https://www.apluscj.com/>



<https://www.instagram.com/apluscllc>

※編注/記事中の表現は被取材者個人の感想や意見であり、一般財団法人メルディアおよび月刊 MELDIA の公式見解ではありません。

Aplusc

アプラスシー合同会社 代表 アートディレクター 入澤日彩子(いりさわひさこ)

神戸市出身。大学卒業後、金融機関でトレーディング部門や企画、教育部門を経験。2016年に展覧会の企画・運営やアーティストのマネジメント等を行うアプラスシー合同会社を設立。



知って
安心!

心配無用

最終回「障害者雇用促進法」の改正



弁護士/鈴木心

1987年東京都出身。中央大学法学部、明治大学法科大学院修了。2016年弁護士登録。2018年より横浜綜合法律事務所において交通事故、不動産問題を中心に様々な案件を取り扱う。2020年同事務所内で独立。



1 障がい者の雇用問題

中央官庁による雇用者数の水増し事件

国や地方公共団体を中心に、障がい者と共に働くことを当たり前の社会にするための雇用対策が進められています。そのうちのひとつ「障害者雇用促進法」では、行政機関や民間企業に対して障がい者の雇用を義務付けています。

ところが、2018年8月、雇用対策を積極的に進める立場にある多数の行政機関が、雇用する障がい者数を水増ししていたことが判明しまし

た。なんと、内閣府、国税庁、国交省、法務省といった行政機関が、雇用する障がい者数を合計3460名も水増しして法定の雇用率2.5%を大きく下回る1.19%しか雇用していなかったのです。障がい者が安心して生きられる社会の実現を目指すはずの政府が「障がい者雇用水増し問題」を引き起こすという極めて衝撃的なことでした。

水増しの原因については、当時の担当大臣は、「故意か理解不足によるものか、今回の調査では判断しきれない」とし、「今年中に法定雇用率に満たない人数を雇用するよう努力してもらおう」と会見で述べました。しかし、雇用義務化の当初から中央官庁の多くが40年以上にわたって虚偽の雇用

者数を発表していたといえます。個人的な意見ですが、働いていない人間を何十年も虚偽報告することは、「故意」ととられても仕方ないのではと思います。

この不祥事を受けて、中央官庁では直ちに法定雇用率2.5%を満たすべく是正が行われ、再発防止策を盛り込んだ法改正が行われました。

公共機関の再発防止策としては、①厚生労働省に障がい者雇用の報告義務と是正権限を与えて監督機能の強化、②公的機関に障がい者手帳の写しなどの確認書類の保存義務が設けられました。

しかし、民間企業の場合には法定雇用率を下回ると1人当たり月額5万円の納付金を徴収され

ることになるのですが、行政機関にはこういったペナルティーは課されておらず、この先の改善が求められることになるでしょう。

予定されていたのですが、新型コロナウイルス感染症(以下、新型コロナ)拡大の影響により雇用率の引き上げ時期が2カ月後ろ倒しになりました。

これは、多くの民間企業が採用活動の中止や人員整理の検討を強いられていることから引き上げ時期を調整したのですが、新型コロナの影響でテレワークを導入する企業が急増したこともあり、身体障がい者のうち出勤が困難だった障がい者にとっては良い影響を与えるのではないかと言われています。

次に、②事業主に対する給付制度についてです。現行の障害者雇用率制度では、週の所定労働時間が20時間未満の場合には支援の対象外とされてきました。しかし、就労を希望する精神障がい者が増加傾向にあることや、短期であれば就労可能な障がい者の需要を考慮して、短時間勤務の労働者を雇用する企業に対して給付金が支給されることになりました。ただ、法定雇用率の算定対象にはならないことは、企業側は注意が必要になります。

最後に、③優良事業主の認定制度とは、その名の通り、障害者雇用に積極的な企業を優良な企業として認定する制度です。

対象となるのは、障がい者雇用の取り組みが停滞している中小企業(従業員300名以下)で、加算方式で採点されるポイント制で、一定以上のポイントを獲得した場合に「優良事業主」として認定されます。認定されると、自社商品や広告、求人



2 障害者雇用促進法の改正

民間企業の法定雇用率が2.3%に

右記の障害者雇用促進法の改正に際しては、①民間企業の法定雇用率の引き上げ、②事業主に對する給付制度、③優良事業主の認定制度なども設けられました。

まず、①法定雇用率について、2021年4月までに段階的に2.3%に引き上げられることが

票に「認定マーク」を使用することができ、障がい者雇用の促進に積極的に取り組む優良な企業であることの広報効果が期待されています。また、地方公共団体の公共調達にも有利に働くメリットがあります。

今回の法改正は、法定雇用率を引き上げて企業側に義務を課す一方で、短時間勤務の障がい者を雇用する企業への支援の強化や、罰則ではなくメリットを与えることで雇用促進を図る施策となっています。

未だ、障がい者に対する社会の先入観や偏見は根深いですが、障がい者と共に働くことを当たり前の社会にするための施策を続けることで「障がい」に対する意識改革が実現できることを切に望みます。



横浜綜合法律事務所

神奈川県横浜市中区日本大通11番地
横浜情報文化センター11階
TEL / 045-671-9521
<http://www.breeze.gr.jp/>





利用者と**商品の購入者**を**結び**
心を込めた礼状と丁寧な梱包

編集 オンラインショップで商品を購入した人たちの中には、届いた商品がとても丁寧に梱包されていたということ、中に手書きのメッセージ(おたより)が添えられていたことに感激したという人たちが大勢いるようです。

椎木 購入していただいた商品を丁寧に梱包して発送することは販売側としては当たり前ですが、「美味しかった」という評価以上に、梱包のこととメッセージのことに言及していただき、それをすこく嬉しく思って、投稿に対して返信しました。

編集 椎木さんの返信によって初めて「利用者(※)さんたちがメッセージを手書きしていることを知った」という人もいたようです。

椎木 そうなんです。「とても丁寧に書かれていて感激しました」という返信をいただいたりして、逆に私たちが感激したほどです。

編集 商品を購入した人たちがSNSに投稿していたメッセージの画像を見ましたが、あれは利用者さんたちが手書きをしているんですか？

椎木 利用者さんたちが注文ごとに一葉ずつ手書きしています。

編集 メッセージを商品と一緒にに入れて発送するようになった経緯を教えてください。

椎木 オンラインショップのリピーターを増やそうと「次回購入時に使えるクーポン」を発行していま

※利用者/福祉事業所を利用する障がいのある人たちのこと。



就労継続支援B型事業所
晴れ晴れ/所長
椎木 芳江さん
しいぎよしえ

手書きのメッセージをつけることで嬉しい結果に繋がりました！

した。そのクーポンに一言メッセージを添えたらどうだろうかと考えました。

編集 それが始まりなんです。

椎木 それと、ギフト商品を購入して発送の依頼をしていた人たちに対して「こんな商品を送りました」という納品のお知らせと一緒に商品サンプルと手書きのメッセージを差し上げたら、それが好評でした。

編集 SNS上での反響に対して作業を担う利用者さんたちの反応はどうですか？

椎木 これまでは利用者さんたちの個々の仕事が目まぐるしく少なかったのですが、今回の件で「仕事が楽しくなった」という利用者さんが増えました。嬉しい結果になりました。



箱を開けたお客さんに喜んでもらえるように見栄えも工夫！

hare bare

前々号の取材により、晴れ晴れのお菓子のファンが増えました！



新型コロナウイルス感染症に留意し、衛生面には最大限の配慮をしたうえで人的距離を確保して取材を行いました。福祉事業所への訪問前に取材陣全員の健康状態の問診と体温計測を行い、手指の消毒およびうがいを励行しました。取材中は適宜に換気を行い、素材写真の撮影時以外は全員がマスクを着用して取材を行いました。(編集部)

月間MELDIA 34号巻頭にて大矢真那が取材し、反響がありました！



やりがいと喜びを再発見した人たち



特定非営利活動法人ヒールアップハウス
就労継続支援 B 型事業所
晴れ晴れ
埼玉県川口市



本誌の取材が発端となって
新たな交流が生まれる
自身の仕事に



巻頭の記事でも触れていますが、大矢真那さんが本誌の取材でサンプルとして頂いたクッキーが「美味しかった」と自身のSNSに投稿したのを発端にして、大矢さんの投稿を見たファンの人たちが同商品を購入するという複数の事例がSNS上で散見されました。

商品を購入した事例だけでなく、それを販売する福祉事業所と購入者との間に新しい交流が生まれているということも分かりました。

大矢さんの投稿をきっかけに商品を購入したファンのお話は巻頭の記事を読んでいただくとして、商品を販売している福祉事業所と同所で働く利用者さんたちの意見を聞きに埼玉県川口市の「晴れ晴れ」に伺いました。

晴れ晴れ
(就労継続支援 B 型事業所)
埼玉県川口市北園町12-20-101
TEL / 048-269-8288
<https://harebare.org/>

各種の募集と一般財団法人メルディアからのお知らせ

月刊MELDIA 定期購読希望者募集

「月刊MELDIA」はフリーペーパーです。定期購読をご希望の場合に送料無料で指定の住所まで発送をしています。定期購読をご希望の場合は当財団事務局までご用命ください。



← 定期購読のお申し込みはこちらから

※本誌の個別発送業務に関しては、東京都新宿区内にある福祉事業所の利用者さんたちに依頼しています。

月刊MELDIA 常設設置拠点募集

一般財団法人メルディア（以下、当財団）では、広報誌「月刊MELDIA（以下、本誌）」の常設設置拠点を随時募集しています。特に障がいのある人が集まる場所や施設内部など、設置場所の提供をお願いします。詳細は当財団の事務局までお問い合わせください。

一般財団法人メルディアへの 寄付を募集しています

一般財団法人メルディアでは、私共の設立趣旨にご理解を頂いて事業の展開をご支援頂ける皆さまからの寄附を募集しています。



1 一般財団法人メルディアの事業目的

当法人は、障がいのある方を支援する活動と、スポーツ（サッカー等）を行う児童、青少年を支援する活動を通じて、広く人々と社会に貢献することを目的とした事業を行っています。

2 寄附金の使途

お寄せいただきました寄附金は、当財団が行う各事業に活用させていただき、本誌上にて定期的にご報告いたします。

3 寄附金の募集期間

随時

4 寄附金額

10,000円以上任意

5 税制上の優遇措置について

当財団は、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（平成18年法律第48号）」に基づいて設立された一般財団法人です。非営利型法人ではありますが、寄附金は法に定める特定寄附金に該当しないため、寄附金控除等の税制上の優遇措置の対象とはなりません。ご理解とご承知のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

6 寄附のお申込受付について

ご支援いただける場合は下記に記載のURLにある「寄附申込フォーム」に必要事項をご記入のうえ、受付登録をお願いいたします。追って、お振込み口座などの詳細について連絡を差し上げます。指定口座への入金確認ができ次第、「寄附金領収証」を発行し送付いたします。
<https://meldia.org/business/donation/donations/>



お問い合わせはこちら

一般財団法人メルディア

〒163-0632 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル32F
一般財団法人メルディア 事務局／担当：後藤（ごとう）・鷺坂（さぎさか）宛て
TEL：03-5381-3213 / MAIL：org@gf-meldia.com

ホームページとFacebook

一般財団法人メルディアのホームページでは当財団の取り組みやイベント情報、取材の裏話などの情報を掲載しています。Facebookページのご留意もあります。是非とも一度、ご覧ください。



福祉事業所で働く人たち 晴れ晴れ

hare bare



丁寧な作業に感激の声も多数
努力と工夫が良い循環を育む

——メッセージの手書きを担当するKさんにお話を伺うことができました。

編集 一文字ずつ丁寧に書いていましたね。すく字も上手だと思います。

Kさん ありがとうございます。

編集 仕事をしていて「嬉しい」とか「楽しい」と感じるのってどんな時ですか？

Kさん 文字がきれいに書けると楽しいですし、「字が上手だ」とか「丁寧だ」と言われるとすごく嬉しいです。

編集 手書きのメッセージを受け取った人たちの中には「感激した」とSNSに投稿している人たちもいました。



手書きメッセージを喜んでもらえて仕事がいつそう楽しくなったというKさん

Kさん 私が書いたメッセージに感激してもらうんだなんていう経験が無かったので、仕事に取り組むのが一層楽しくなりますし、これからも誰かに感謝されるような仕事をしたいなと思います。

——商品の梱包と発送の作業を担当するSさんにもお話を伺いました。

編集 「梱包が丁寧で感動した」という投稿がありました。Sさんはいつも何を心掛けて作業していますか？

Sさん せっかく皆さんに商品を購入していただくのだから、出来る限り良い商品をお届けしたいと考えて作業しています。箱を開けたお客さんに快く感じていただけるように、見栄えも考えながらひとつひとつ丁寧に梱包するようにしています。

編集 箱を開けた時に商品がきれいに並んでいたらお客さんも嬉しいし、印象にも残るだろうと思います。お客さんたちの評価はSさんたちの工夫や努力があつてこそだと思います。

Sさん 味もさることながら、商品の見た目や梱包の仕方も重要だと思うんです。これからお客さんたちに喜んでいただけるように頑張りたいと思います。



こだわりを持って丁寧に梱包作業をするSさん



オンラインショップはこちら



hare bare ONLINE SHOP
<https://shop.harebare.org/>



特定非営利活動法人
ヒールアップハウス
埼玉県川口市北園町12-20-101
TEL / 048-269-8288
<https://healuphouse.org/>





SHONAN BELLMARE
JAPAN PROFESSIONAL FOOTBALL LEAGUE

©1993 SHONAN.BM

■ホームゲーム一覧

開催日	キックオフ	対戦相手	申込〆切
11/25 (水)	19:30	サンフレッチェ広島	11/11(水)
12/6 (日)	15:00	ガンバ大阪	11/22(日)
12/16 (水)	19:00	大分トリニータ	12/2 (水)


療育手帳・精神障害者
保健福祉手帳をお持ち
の方と、介添者の方1
名を湘南ベルマーレの
ホームゲームに抽選で
ご招待いたします！

■応募から観戦までのステップ

※試合と応募に関する詳細はこちら <https://meldia.org/present/>

STEP 1 応募

HPの応募フォームへ
必要事項をご入力



応募フォーム
はこちら

<https://meldia.org/present/>

ホームページからも応募できます
財団 メルディア 🔍 検索

STEP 2 メール

応募完了メールが
届いたら受付完了

ドメイン指定をしている方
は「org@gf-meldia.com」
を指定メールアドレスに追
加してください。応募後、
5日経っても応募完了メー
ルが届かない場合は恐れ入
りますが下記お問い合わせ
先までお電話くださいませ
ようお願いいたします。

STEP 3 抽選


当選者へチケットを
お送りします

当選者の方へ当選メール
を送信後、応募フォーム
にご入力頂いたご住所宛
にチケットをお送りいた
します。
当選発表はメールの送付
をもってかえさせていただきます。

STEP 4 観戦

スタジアムへGO！


チケットに記載のゲート
よりご入場ください。
どうぞご観戦をお楽し
みください！




※当財団はチケットプレゼントのみ提供いたします。試合当日のご案内はいたしかねますので予めご了承ください。
なお、会場内で生じたトラブル等に関しては一切の責任を負いません。併せてご了承ください。

ACCESS

Shonan BMW スタジアム平塚へのアクセス 詳細は湘南ベルマーレ HP をご覧ください

 JR 東海道線平塚駅、小田急小田原線伊勢原駅よりシャトルバス、路線バス運行

駐車場は台数に限りがありますので予めご了承ください。

 圏央道寒川南 I.C. より湘南銀河大橋、国道 129 号線経由で約 15 分 (国道 129 号線に随時「総合公園」の看板あり)

■お問い合わせ先■
一般財団法人メルディア 事務局 担当:後藤/鷺坂(さぎさか)
TEL 03-5381-3213 受付時間▶月曜日~金曜日 9:30~18:30
※抽選結果に関するお問合せにつきましてはお答えしかねますのでご了承ください。

36 MELDIA CONTENTS 2020 DEC.

- 01| 障がい者を応援
大矢真那インタビュー
- 06| 一般財団法人メルディアとは?
メルディアの基本理念、財団概要、支援事業
- 07| 布施博が訊く
特定非営利活動法人 心のおしゃべり音楽工房/東京都世田谷区
- 11| 福祉事業所探訪
あかりワークス国納/埼玉県南埼玉郡宮代町
- 15| 水越けいこ連載「M size / はじまり」
水越けいこが愛息・レイくんとの日々を綴る
- 17| 障がいとアート
アーティスト・平山和詩さん
- 21| 平山和詩さんのこと
アートディレクター・入澤日彩子
- 23| 弁護士・鈴木心の「心配無用」
横浜総合法律事務所/弁護士・鈴木心
- 25| 福祉事業所で働く人たち
就労支援B型事業所 晴れ晴れ/埼玉県川口市
- 28| 募集と告知
各種募集と一般財団法人メルディアからのお知らせ

被取材者、取材者、編集部、関係者などの安全面および衛生面に最大限の配慮をし、本号に掲載の一部記事においてはWEB会議システムを利用したりリモート取材を行いました。

月刊 MELDIA Vol.36 / 2020 年 10 月 25 日発行

発行元 / 一般財団法人メルディア
 発行人 / 小池信三
 事務局 / 榎本喜明、後藤正善、鷺坂浩章
 編集 / 株式会社 サン・オフィス
 編集人 / 東宮恵美
 編集長 / 山口慎市
 制作進行 / 谷田貝亘介
 編集部 / 株式会社 サン・オフィス/制作部&メディア事業部
 ライター / 水越けいこ、布施博、大矢真那、鈴木心、森清香、大橋はるか、入澤日彩子

カメラマン / 吉岡晋
 ヘアメイク / 株式会社Dharma
 デザイン / 有限会社 フレッシュ・アド
 印刷製本 / タイヘイ株式会社
 協力 / MELDIA GROUP 株式会社 三栄建築設計、特定非営利活動法人心のおしゃべり音楽工房、特定非営利活動法人あかり、あかりワークス国納、那須塩原市まちなか交流センター、平山薫、平山安寿子、つながるひろがるアート展NASU実行委員会、佐藤謙太郎、アブリユッセー合同会社、特定非営利活動法人ヒールアップハウス、就労支援B型事業所 晴れ晴れ、横浜総合法律事務所、株式会社TDPミュージックパブリッシャーズ、株式会社Dharma
 ※敬称略/順不同

 編集部Twitter/<https://twitter.com/MELDIAEdition/>

本誌の無断転載・複製を禁じます
2017-2020©All Rights Reserved. 一般財団法人メルディア/月刊MELDIA
MELDIA GROUP 株式会社 三栄建築設計 / **SAN OFFICE**



次号予告

MELDIA VOL.37

2020 年 11 月 25 日 発行予定

一般財団法人メルディア

〒163-0632
東京都新宿区西新宿 1-25-1
新宿センタービル 32F
一般財団法人メルディア 事務局
TEL: 03-5381-3213
MAIL: org@gf-meldia.com